

# 2017年3月期 第2四半期決算説明会

## 株式会社 メディアグローバルリンクス

**MEDIA LINKS**<sup>®</sup>  
Media Defined Networking<sup>®</sup>

2016年11月1日

# 1. 2017年3月期 上半期決算報告

(第2四半期累計期間 2016年4月～9月)

# 上半期連結業績ハイライト①(前年同期比)

(2016年4月～9月 6ヶ月間累計)

(百万円)

	前年同期	実績	増減額	前年同期比
売上高	2,107	2,024	-83	-3.9%
売上総利益	1,323	1,305	-18	-1.4%
販管費	1,509	1,495	-14	-0.9%
営業利益	-185	-190	-5	-
経常利益	-206	-279	-73	-
四半期純利益※	-238	-320	-82	-

※親会社株主に帰属する四半期純利益

# 上半期連結業績ハイライト②(業績予想比)

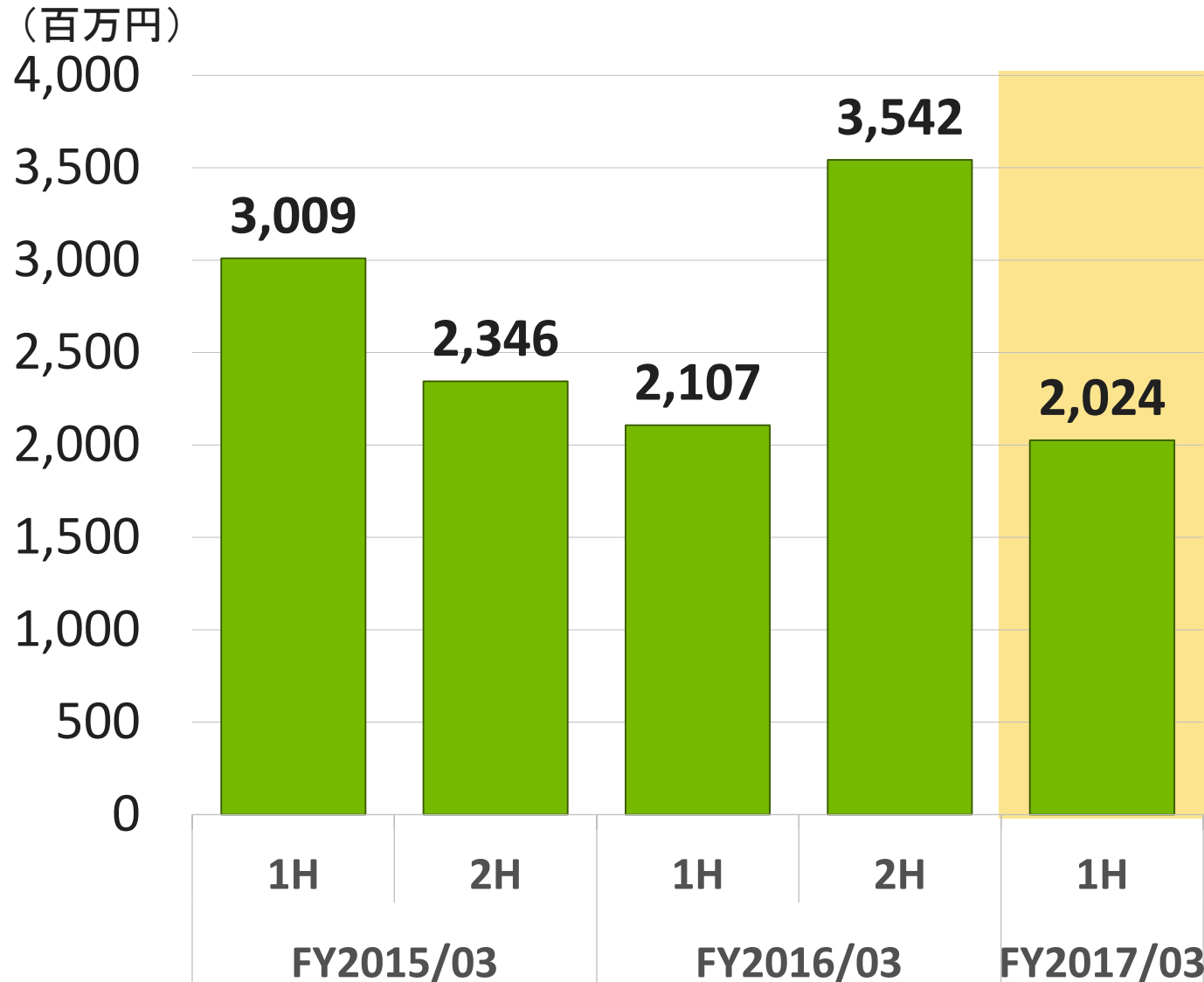
(2016年4月～9月 6ヶ月間累計)

(百万円)

	期初予想	実績	増減額	期初予想比
売上高	2,000	2,024	24	1.2%
売上総利益	1,140	1,305	165	14.5%
販管費	1,690	1,495	-195	-11.5%
営業利益	-550	-190	360	-
経常利益	-555	-279	276	-
四半期純利益※	-580	-320	260	-

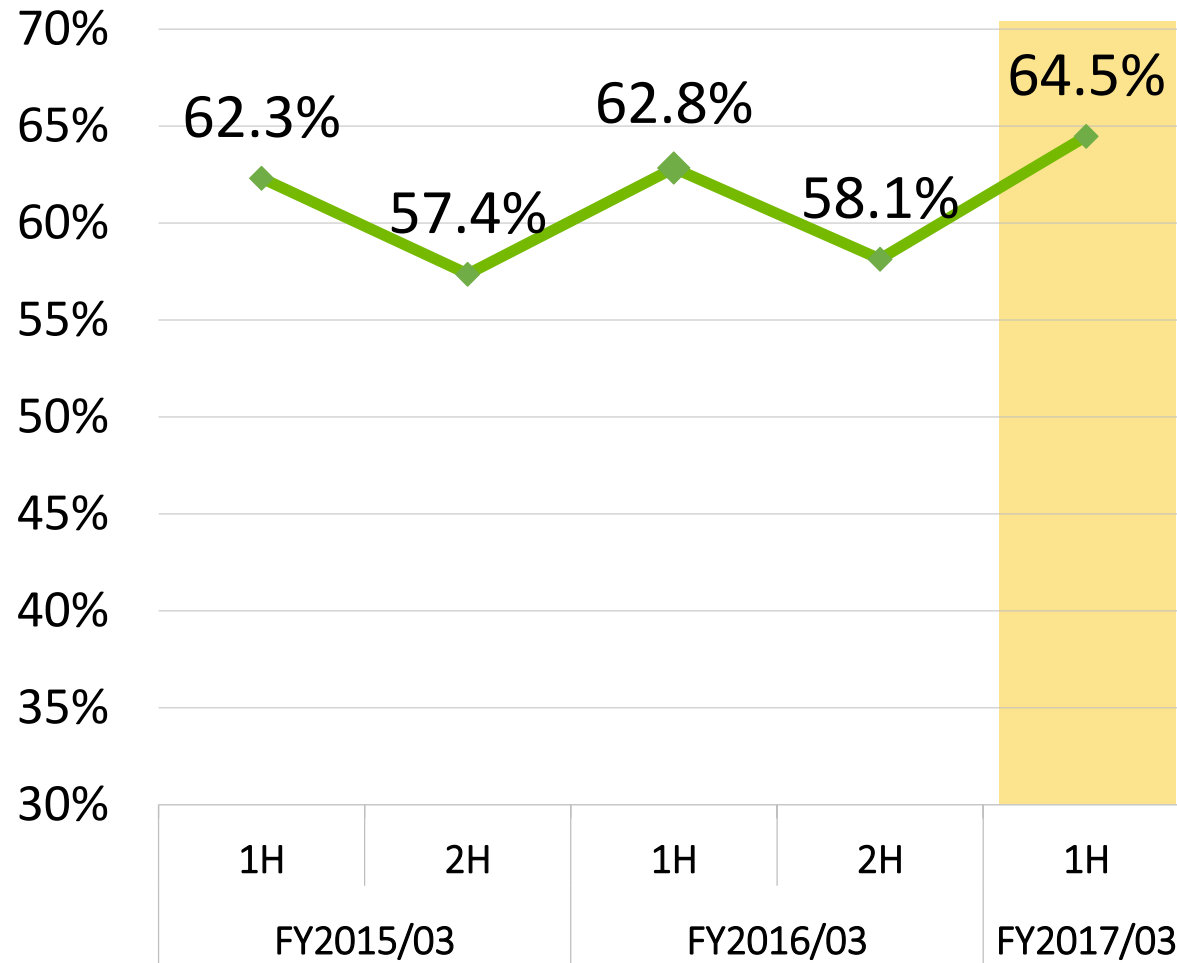
※親会社株主に帰属する四半期純利益

# 連結売上高



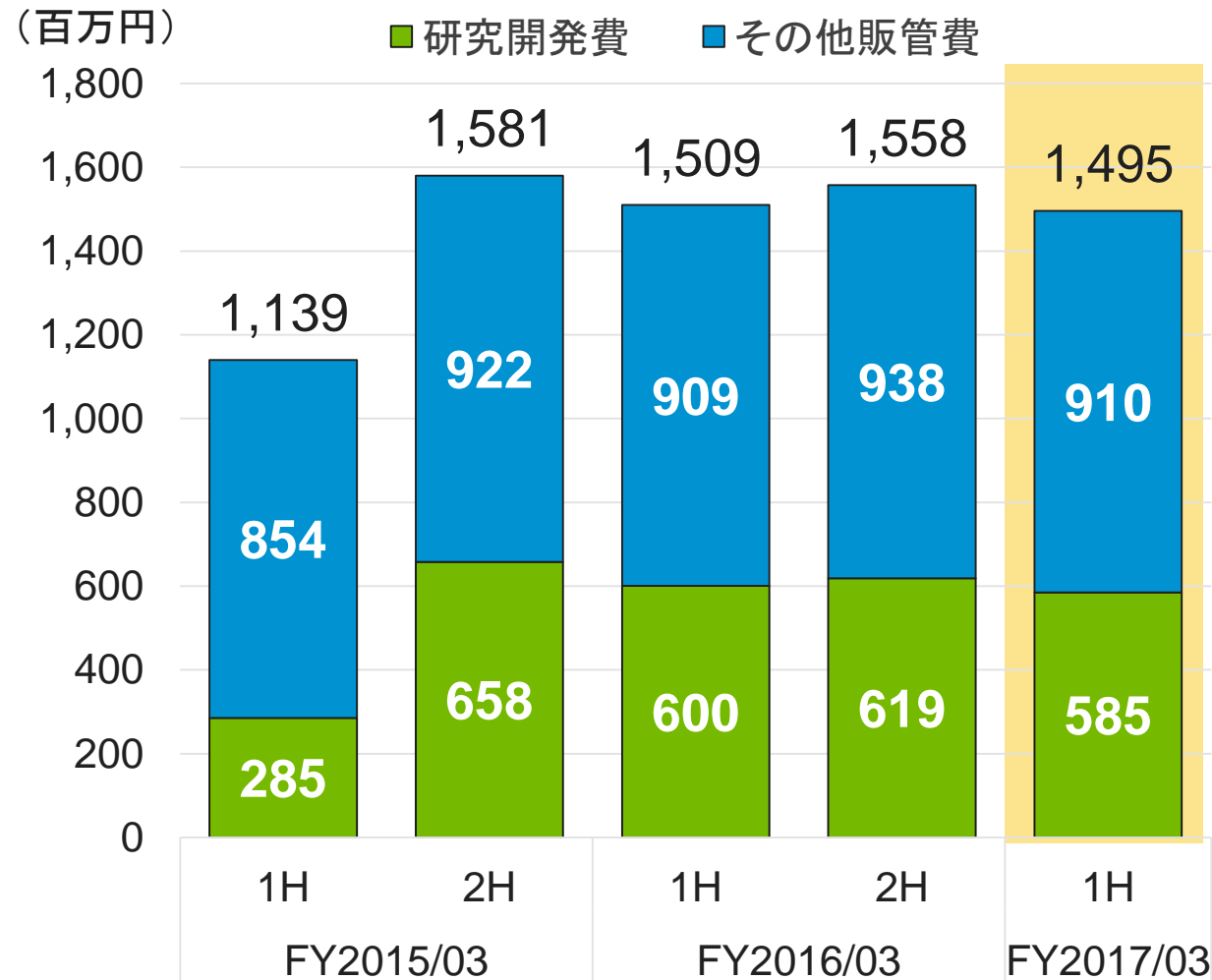
- 前年同期比3.9%減少
- 為替影響額 -220百万円
- 海外売上比率79.9%  
北米が牽引  
オーストラリアは需要一巡

# 売上総利益率



- 前年同期比 微増
- 比較的利益率の高い製品の販売が堅調
- 主力製品であるMD8000シリーズの競争力を引き続き維持

# 販売費及び一般管理費



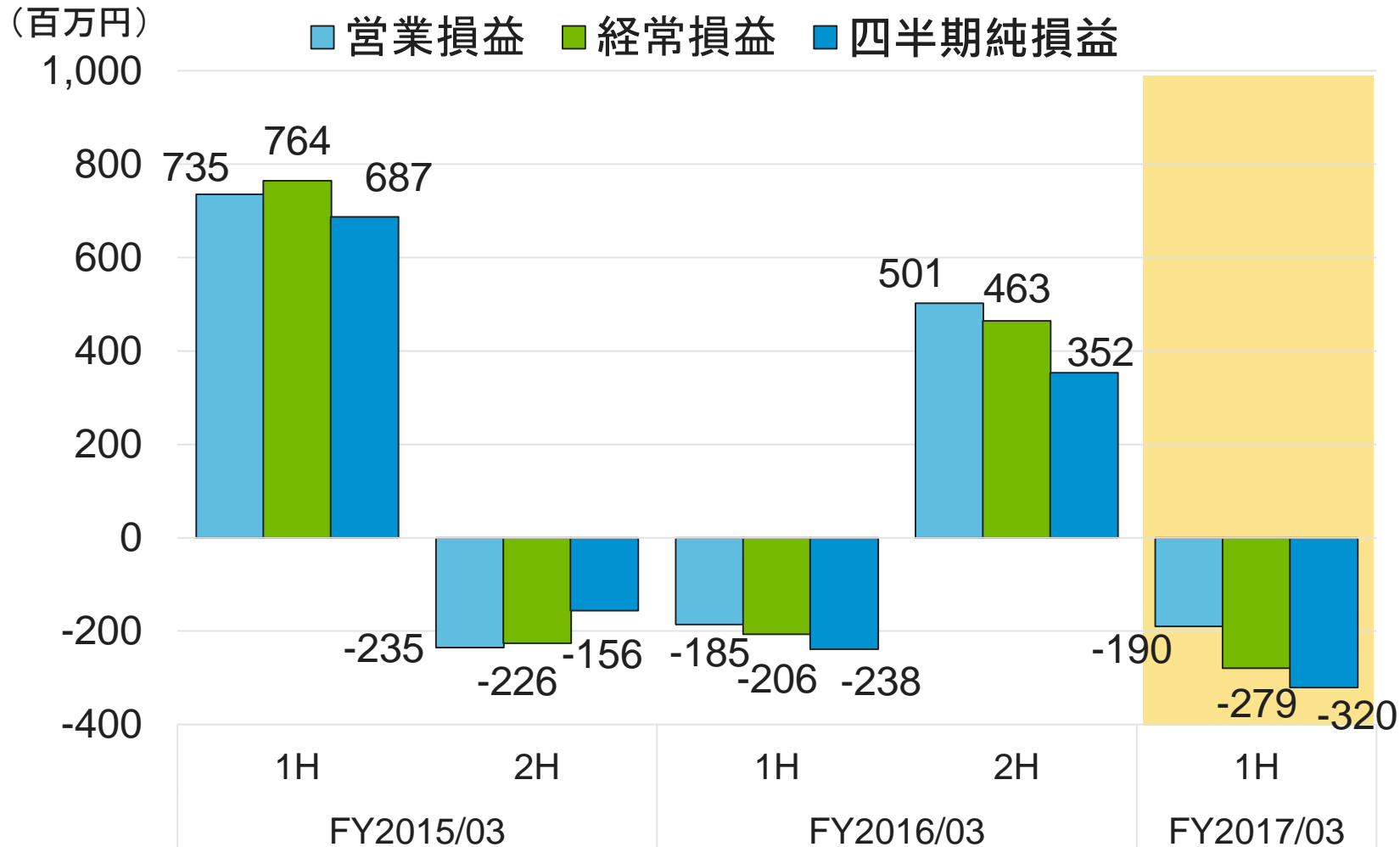
- 前年同期比 -0.9%
  - 研究開発費前年同期比 -2.6%
  - 継続的な経費削減
  - 予定した経費の一部が執行されなかった
  - 為替の影響 -97百万円

- 9月末人員数(連結)
  - 前年同期比 15名増(+16%)
  - 前期末比 14名増(+14%)

2015年9月末	2016年3月末	2016年9月末
94名	95名	109名

# 連結営業利益/経常利益/純利益

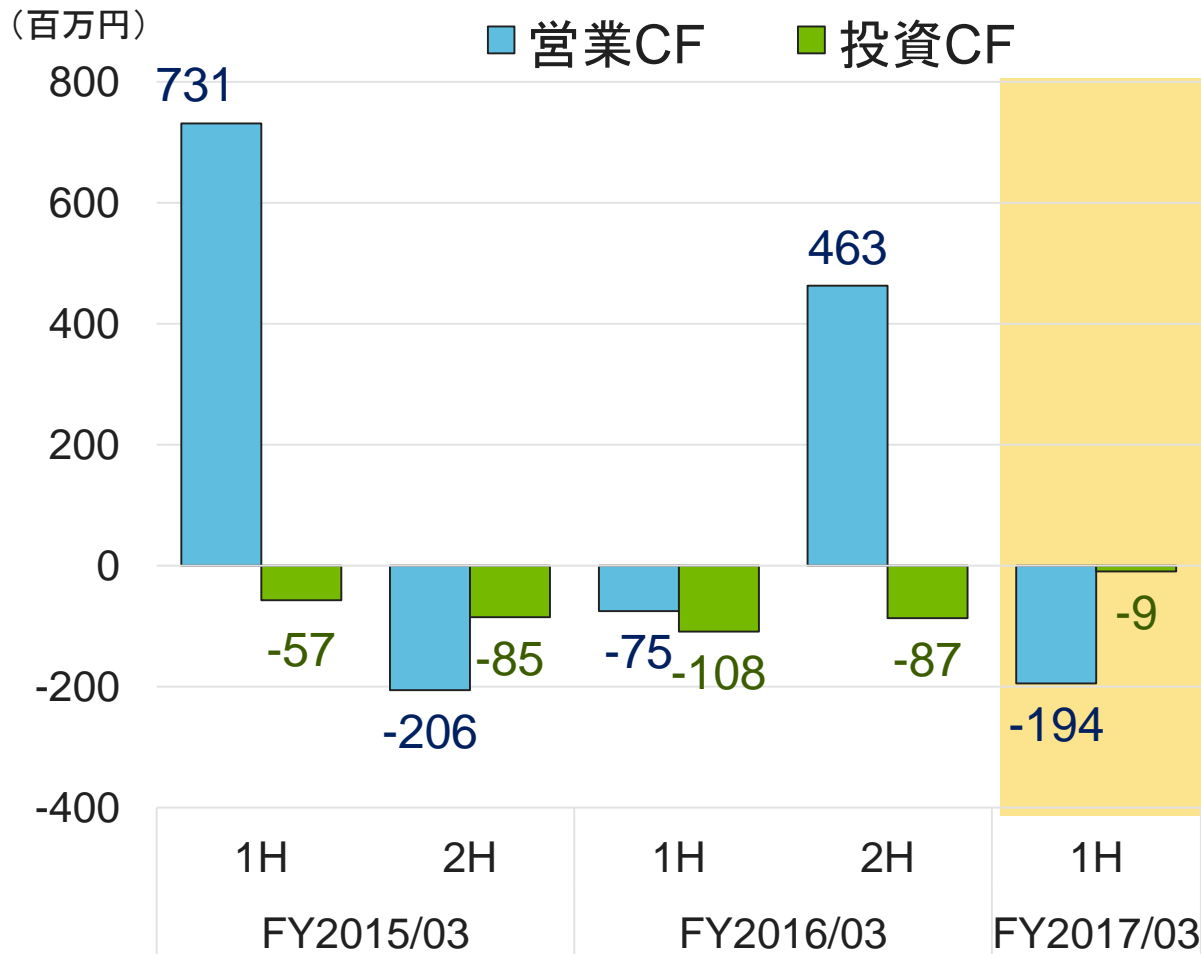
(2016年4月～9月 6ヶ月間累計)



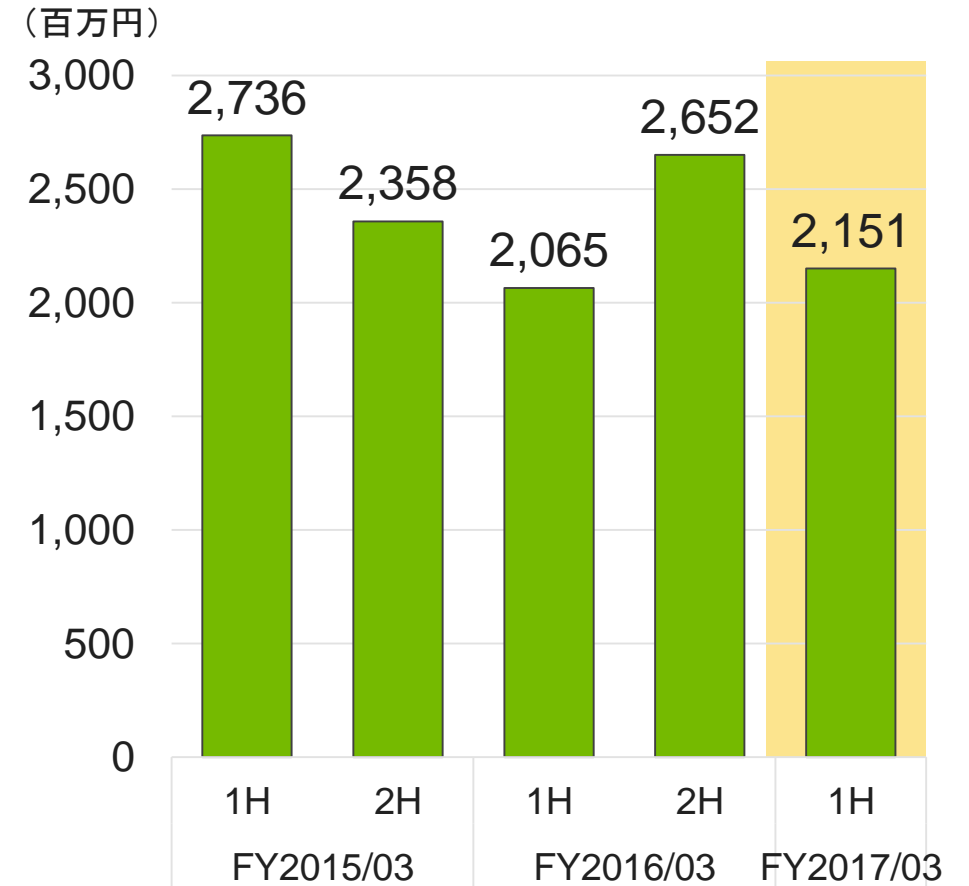
- 営業利益 -190百万円
- 経常利益 -279百万円  
為替差損の発生 88百万円
- 四半期純利益※-320 百万円  
※親会社株主に帰属する四半期純損失



# キャッシュ・フロー

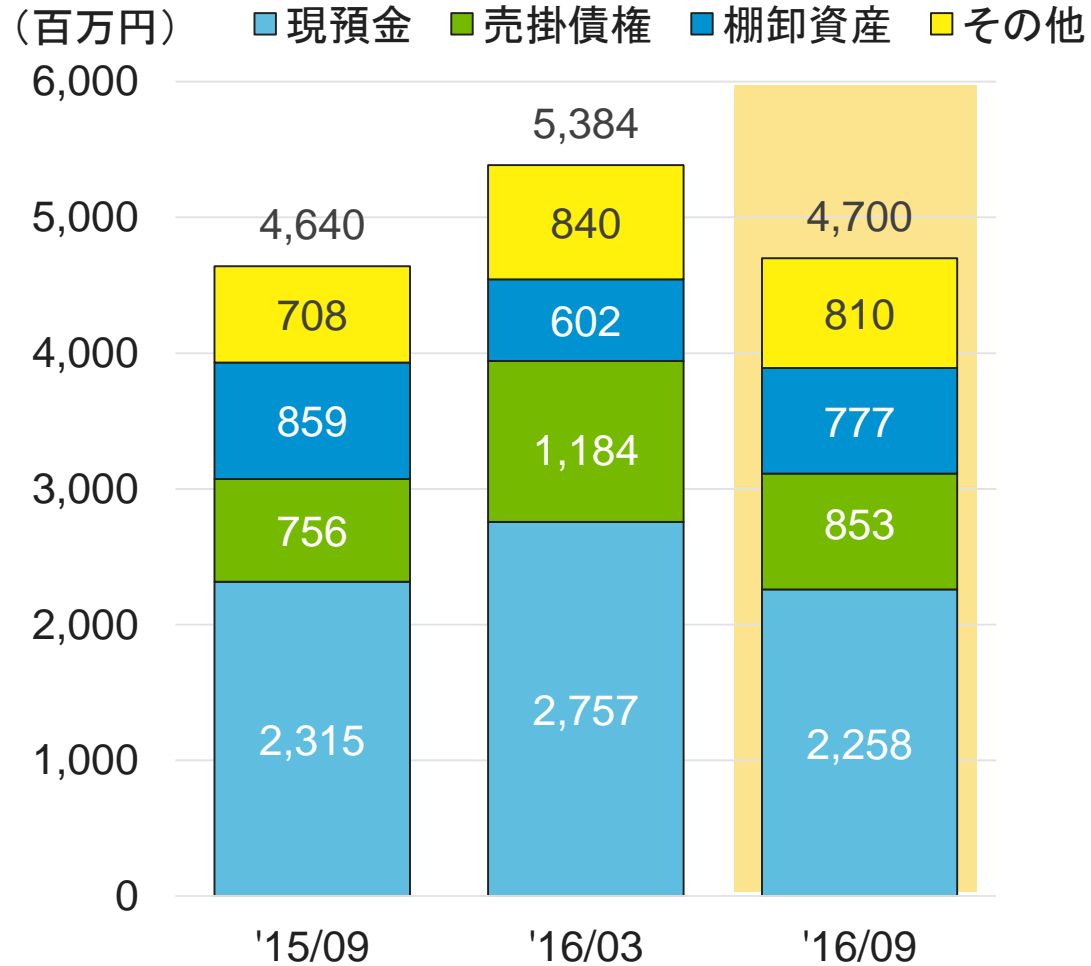


# 現金および同等物残高

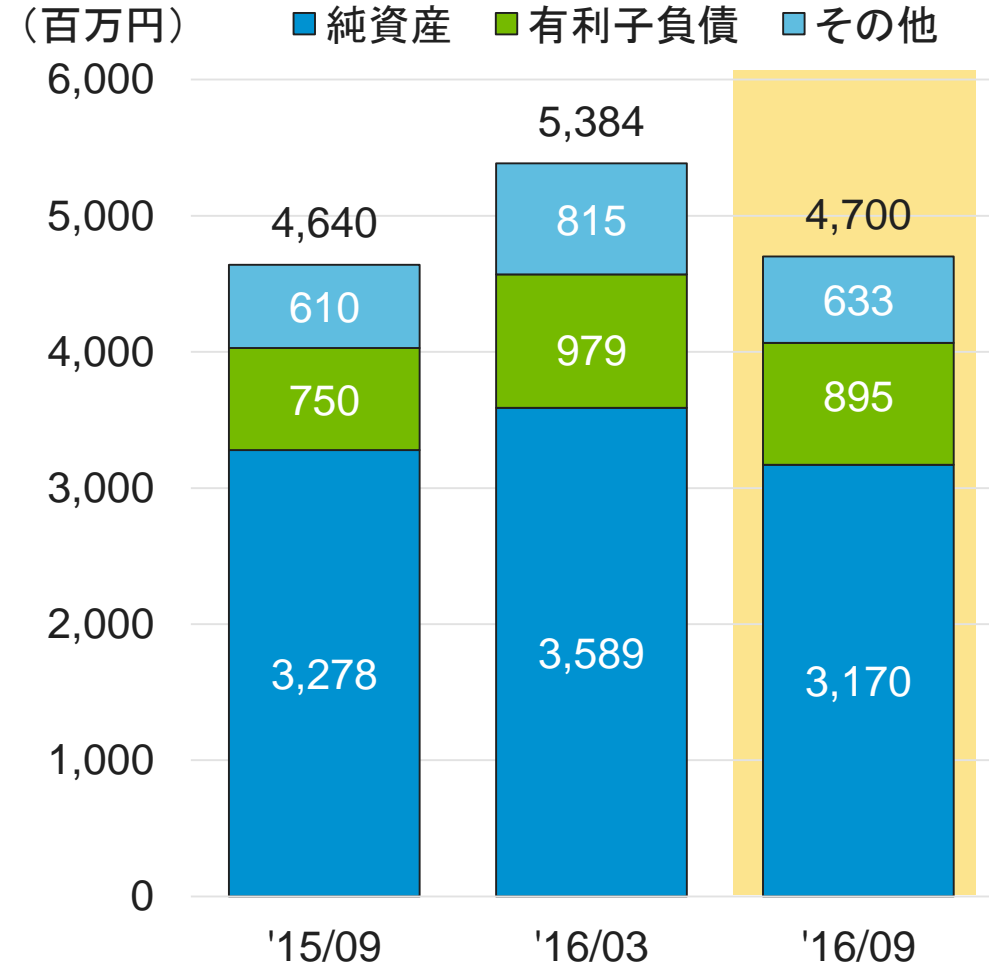


# 貸借対照表

## ■ 資産



## ■ 負債および純資産



## 2. 2017年3月期 通期業績見通し (2016年4月～2017年3月)

# 2017年3月期通期 連結業績予想 (2016年10月26日発表)

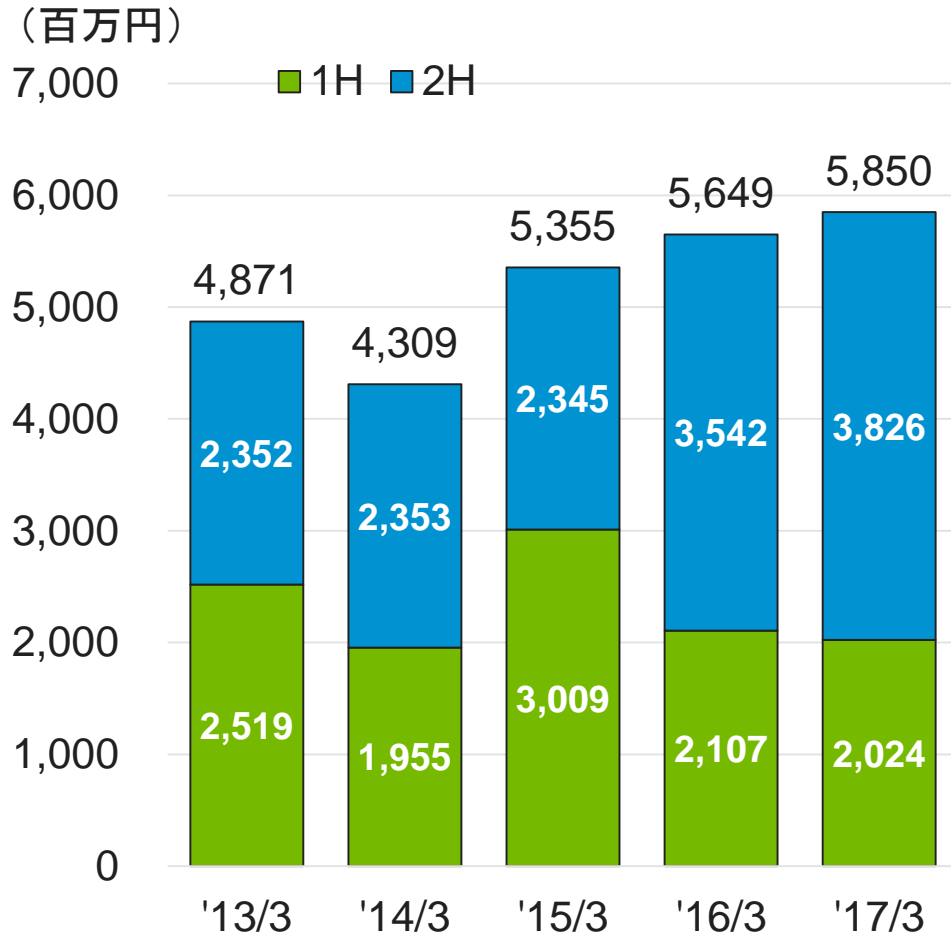
(百万円)

	前回予想 (5月9日発表)	修正予想 (10月26日発表)	差異
売上高	6,000	5,850	-150
営業利益	80	160	80
経常利益	70	70	0
当期純利益※	10	10	0

第3四半期以降の想定為替レートは、1米ドル105円、1オーストラリアドル78円に変更  
(期初計画1米ドル115円、1オーストラリアドル85円)

※親会社株主に帰属する当期純利益

# 2017年3月期 通期売上見込み



## 1) 北米市場

- ・大手通信事業者からのMD8000シリーズの継続オーダー及び新規顧客(大手通信事業者)の獲得

## 2) 欧州市場

- ・新規顧客獲得に向けて積極的に営業活動を展開

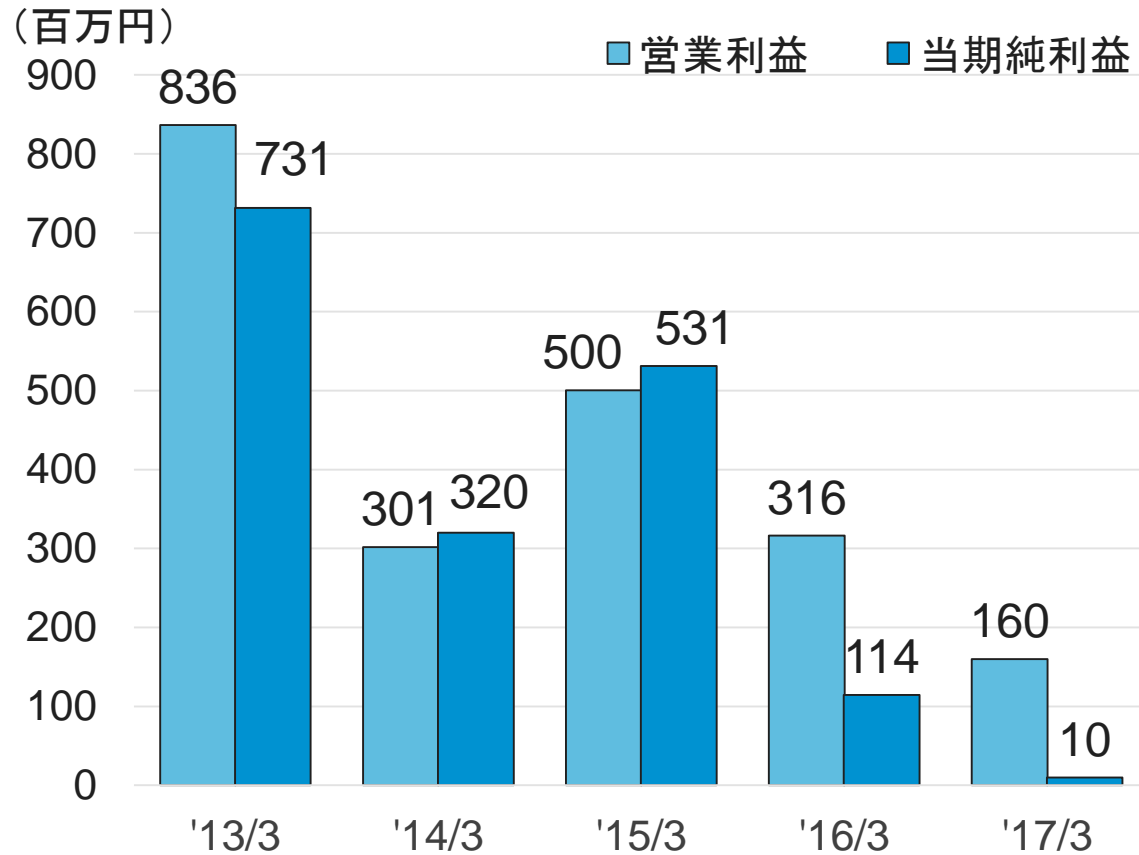
## 3) 国内市場

- ・放送局内IPネットワーク 国内大手放送局案件

## 4) オーストラリア・アジア市場

- ・オーストラリアは、初期導入は一巡。スポーツイベント・追加オーダーを視野
- ・アジア新興国市場での新規顧客獲得を狙う

# 2017年3月期 通期連結営業利益/当期純利益※ 見込



- ・研究開発、マーケティング投資継続
- ・経費ズレ込み
- ・為替差損88百万円

- ・営業利益は、上方修正
- ・経常利益、当期純利益※は、据え置き

※親会社株主に帰属する当期純利益

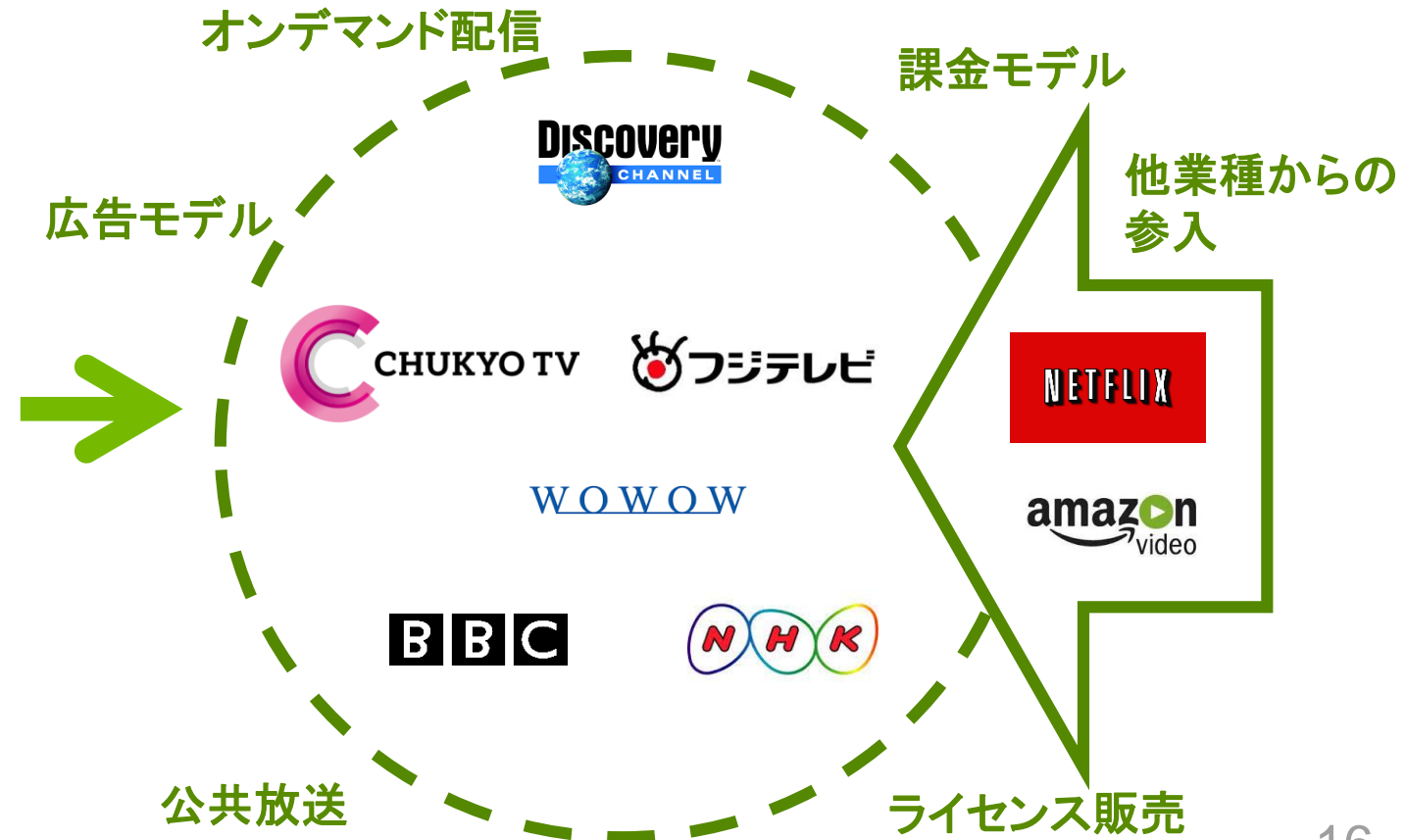
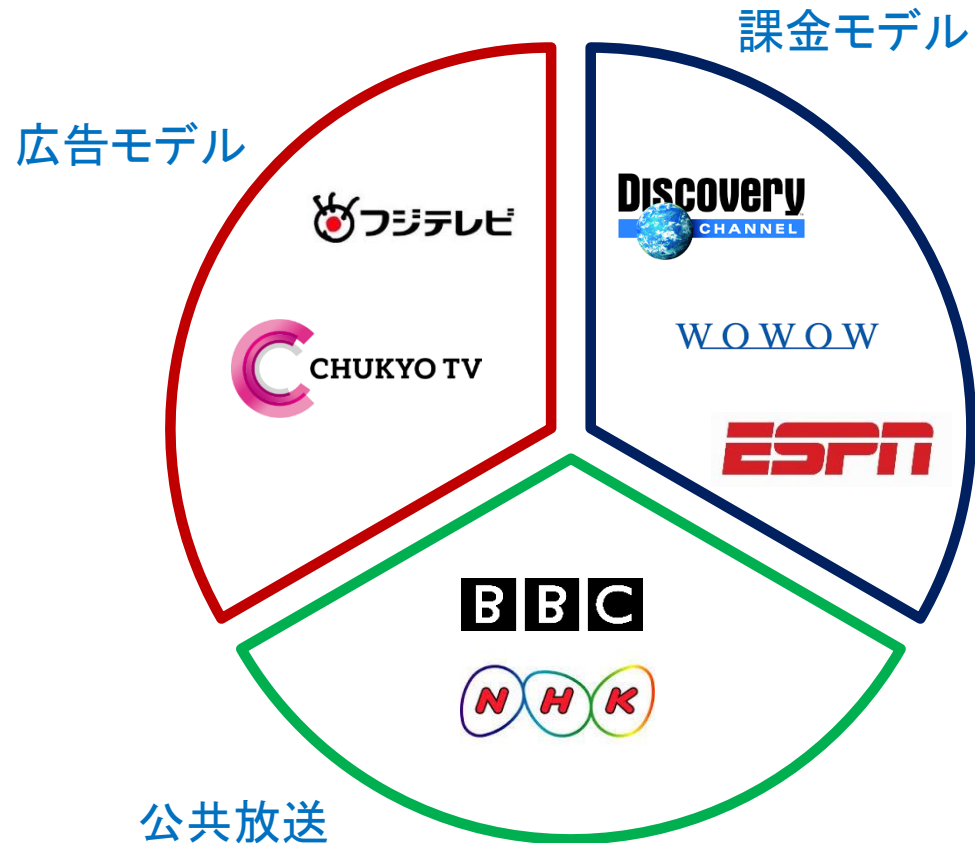
### 3. 今後のビジネス展開について

# メディア市場の変化

新規参入により、市場は拡大し、競争は激化している

従来のメディア市場  
“すみわけ”ができていた。

最近のメディア市場  
異業種からの新規参入により、競争は激化。





# メディア市場のコンテンツ競争激化

- メディア市場の競争激化により、コンテンツの争奪戦
- 特にスポーツの生中継は、もっとも重要なコンテンツ  
スポーツ生中継の需要拡大は、高画質の映像伝送市場の需要拡大

米国のスポーツ番組 2005年と2016年の比較

総放送時間 **160%**増加

総視聴時間 **41%**増加

スポーツ番組全体の**95%**はライブ視聴

出典: ニールセン 米国のテレビ・インターネット・ラジオにおけるスポーツコンテンツ視聴動向レポート 2015年版



数々のスポーツイベントで、MD8000シリーズが活躍中

# メディア（放送局）の環境の変化

## スポーツ生中継が変えるメディアの制作体制

### 視聴者のニーズ

- ・スポーツ生中継を外出先でも見たい  
→スマホでの視聴時間増加
- ・迫力ある映像は、高画質で見たい  
→4K、8Kなど。

### メディア（放送事業者）のニーズ

- ・マルチスクリーン（スマホ、タブレット、パソコン、テレビ）への番組提供  
→番組制作の効率化が迫られる

IPですべて（スポーツ会場、放送局、編集スタジオをシームレスに繋ぐことで、従来の枠組みを超えた新たなコンテンツ制作・配信の仕組みを生み出す。

**Studio Without Limits で市場のニーズに応える**

日本国内で実績を作り、海外顧客に提案する。

# 研究開発動向と新製品

今後も競争優位を確保し、将来の利益を確保するため、成長への積極投資を行う

## 1. 映像伝送製品

製品競争力が高いMD8000シリーズのさらなる機能強化

## 2. Studio Without Limits

- ・伝送だけでなく、ワークフロー全体カバーする製品ラインナップの拡充  
局内IPビデオルーター MDXシリーズ  
ネットワークマネジメントシステム NetGazer™等の開発を進める

今年度末から来年度に新製品を投入予定  
事業拡大のチャンスを逃さない

ありがとうございました



株式会社メディアグローバルリンクス

<http://www.medialinks.co.jp>

Tel 044-589-3440

Fax 044-589-3441

E-mail [ir@medialinks.co.jp](mailto:ir@medialinks.co.jp)

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化、研究開発の進捗、競合状況等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる場合もありますことをご承知おきください。
- 数値表記について  
本資料中の数値表記は、基本的には、決算短信と同様に、百万円未満の数値は切り捨てで表記をしております。